

＜議事録＞

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局)</p> <p>1 1月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長)</p> <p>11月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。</p> <p>24日金曜日、愛知県民の日ホリデーが、初めて今年度から制定され、実施された。</p> <p>来年度については前回の定例教育委員会で令和6年11月25日と決まり、進めていくが、今年度が初めてということで、図書館、博物館、南吉記念館、赤レンガ建物を見に行ったが、プラネタリウムは朝から並んでおり大盛況だったと聞いている。</p> <p>南吉記念館や赤レンガ建物も普段の休日程度の人出だったのではないかという印象を受けた。今後も有効にこういったことを活用できていくといいと思った。一方で、前回の定例教育委員会でも意見があったように、保護者が休めない子たちもいるということも認識し、社会全体として考えていかなければいけない問題だとも感じた。</p> <p>28日、29日にはネーミングライツの式典があった。28日は「びよログスポーツパーク」、29日は「瀧上工業雁宿ホール」。まだまだ馴染みがないが、これから広げていきたい。公式の文書でも12月からは記載を変更している。今回、半田球場と北部グラウンドは応募者がなかった。</p> <p>12月2日、愛知駅伝があった。後ほどスポーツ課から報告があるが、結果は29位だった。選手は、本当に一生懸命頑張っていた。</p> <p>4日、報道等でご存じのとおり、市内中学校で事件があった。概要は、4日昼前に事件があり、すぐに救急車を要請したところ、いろいろな報道機関が早く動き出して、学校としては非常に大変だった。その後、5日の夜に保護者説明会を行い、6～8日には担任が全生徒を対象に面談をした。事件によって心を痛めている子もあり、必要に応じてスクールカウンセラーとの面談を受けてもらった。</p> <p>なお、事件の直後に名古屋市へ2、3人のスクールカウンセラーの派遣協力を依頼し、すぐに名古屋市から3人スクールカウンセラーを派遣していただき、気になる子のサポートに当たっていただいた。半田市のカウンセラーと名古屋のカウンセラーの常時3名体制でそれぞれが連携して生徒のサポートをしている。また、保護者についても、カウンセリングを希望する方に対しては、スクールカウンセラーが対応している。</p> <p>3学期についても、当該中学校にはスクールカウンセラーを常駐させる計画を進めている。また、来年度もスクールカウンセラーは増員する方向で考えている。</p> <p>事件から2週間経ち、通常の学校生活を取り戻せてきているように見えるが、やはりそんな中でも心を痛めているような子どもたちがいるのではないかという目で見えないといけない。子どもたちをケアできる体制を整えつつ、学校にも心のケアを受けられるような配慮をお願いする。</p> <p>教育委員会からは、高下指導主事が定期的に学校を訪問したり電話連絡を取りながら現況を把握し、調整をしている。</p> <p>8日に校長一次面談、続いて14日に教育事務所面談があった。これは人事に関わることで、8日は、各小中学校の校長先生が人事異動に関しての要望を知多教育事務所に伝える会である。14日は、教育委員会が知多教育事務所で面談を受け、来年度の人事について要望を行った。</p> <p>16日は半田キャリアDAYが開催された。3回目になる。市内5つの県立高等学</p>

	<p>校による主催で開催されるが、要は5つの高等学校の学校紹介。会を重ねる度に参加者が増え、今年度は200名ほどの生徒及び保護者が来てくれた。半田市キャリア教育の一環として、高校と一緒にこういったことも取り組んでいる。もっといろいろな面で高校とも連携しながらキャリア教育をやっていききたい。</p> <p>19日、生徒会サミットを開催した。今年度は、乙川中学校の生徒会が山車まつりに関わる動画を作成した。これは、元々生徒会サミットで半田市をより良くするためというテーマで各学校の生徒会が取り組んでいる中で、乙川中学校は動画制作、今年度は特に山車まつりがあるということで、山車まつりのPR動画を作ったり、山車組にも出かけて山車を組むところを動画で撮ったり、また当日の様子も動画に撮ってYouTubeに上げたりしていた。そういった活動を市長にも報告した。</p> <p>生徒会サミットでは、幸せについて協議したり、どのようにしたら半田を盛り上げることができるかなど、半田をもっと良くするにはどうしたらいいかということを各中学校で話し合う機会を、生徒会を中心に取り組んでもらうような活動をしているが、本当に生徒会がよくやってくれている。生徒会サミットは意見交換や情報交換の場にもなり、それぞれが意見を述べ合うようになってきている。そういうところから、いろいろな良い活動が生まれてきている。</p>
<p>3. 議題 ■報告事項 1) 令和5年 12月半田市 議会定例会の 報告</p>	<p>(教育部長)</p> <p>12月の定例会の一般質問のうち、教育委員会に関する質問について報告する。</p> <p>チャレンジはんだの國弘秀之議員からは、主題「自転車の安心安全な利用促進について」、要旨3「自転車通学をしている生徒の自転車損害賠償責任保険等への加入について」、質問1「自転車通学をしている生徒の自転車事故の件数はどのようなか」、質問2「自転車の安全で適正な利用に関する教育等はどのように行われているか」、質問3「自転車通学をしている生徒は何名か」、質問4「自転車通学をしている生徒の自転車損害賠償責任保険等への加入状況はどのようなか」と質問があった。</p> <p>答弁としては、各中学校では、自転車損害賠償責任保険等への加入義務を自転車通学のルールとして定めており、対象となる生徒には説明を行っていること、自転車通学をしている生徒には全て保険に加入しているものと考えているが、実際に加入状況の確認をしているのは2校のみであったため、その他の学校に対しても、今後はしっかり確認するよう指導助言していくという趣旨で説明した。</p> <p>無所属の有留麻由議員からは、主題1「子どもに関わる現場での包括的性教育を求める」、要旨1「保育園・幼稚園・小中学校で子どもたちへの包括的性教育を求める」、質問1「『いのちの安全教育』は対象が幼児からとなっています。保育園や幼稚園では、現在どのような取り組みを行っているか」と質問があった。</p> <p>包括的性教育とは、性暴力や性被害等に関することも含めて、性の多様性その他性に関する非常に幅の広い性教育であり、ただこの包括的性教育の中には人の生殖に関する学習において、現在の学習指導要領の範囲を超える性行為の具体的な方法などについても教えるというものである。</p> <p>答弁としては、半田市では、現時点において「いのちの安全教育」として位置付けた取組は行っていないが、「いのちの安全教育」に関連する取組として、各保育園・</p>

幼稚園では、園生活の中で、子どもたちが男女の体の違いに興味を持ったときや水遊びのときなどの機会を捉えて、自分の体の大切な部分や水着で隠れる部分などについて教えたり、絵本教材の読み聞かせを行ったりして、自分の体を大切にすることの意識付けなどを行っていると説明した。

質問 2「小学校・中学校では『いのちの安全教育』でどのような取り組みを今年度、何回行ったか」との質問に対しては、小中学校においても同様に、「いのちの安全教育」に関連する取組として、出前講座や外部講師により不同意の性行為や性被害に関すること、被害者や加害者にならないために注意すること、困ったときの相談先などについて子ども達に伝えており、「いのちの安全教育」として位置付けた取組は行っていないと説明した。

質問 3「外部講師をよぶ、学校の中の養護教諭の力を借りるなどして、包括的性教育を行うことは考えているか」との質問があり、同様に要旨 2「子どもに関わる職場での包括的性教育を求める」、質問 1「包括的性教育について保育士・教員等や児童生徒の保護者が知る機会があったか。これから、包括的性教育の理解を深める機会を持つために研修をする予定はあるか」、質問 2「小中学校で「性同一性障害や性指向・性自認に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施について（教員向け）」に沿って実施されているか」と質問があった。答弁としては、包括的性教育は、現在の学習指導要領の範囲を超える、性行為の具体的な方法などについて教えることを含むものであり、その実施については、賛否両論あるものと認識しているため、半田市では、包括的性教育としてではなく、性暴力・性被害等防止や性の多様性など、テーマごとに学習機会を設け、外部講師などの協力も得ながら実施しており、引き続き、このようなかたちで進めていきたいと説明した。

続いて、主題 2「イベントや講演会等への半田市・半田市教育委員会の後援について問う」、要旨 1「行事の趣旨を半田市・半田市教育委員会が賛同し、後援する際、市の理念に合った判断を求める」、質問 1「行事を後援するかどうかの判断基準はなにか」、質問 2「行事の内容や趣旨を判断する際に課や部署の中で話し合っているか」、質問 3「イベントの趣旨が半田市・半田市教育委員会の理念と合ったものを後援するべき。見解は」に対しては、後援については、半田市は「半田市後援名義等使用承認事務取扱要領」に基づき、教育委員会は同要領を準用し、主催者、事業内容等を事業毎に審査している旨の説明をした。

再質問で、装甲車を展示することが、平和宣言している半田市の考え方と矛盾するものでないかとのことだったが、同様の説明を繰り返した。

チャレンジはんだの伊藤正興議員からは、主題 1「大リーガー大谷翔平選手からのグローブの寄贈について問う」、要旨 1「大谷選手から寄贈されるグローブについて」、質問 1「グローブの寄贈の連絡はあったか」と質問があり、答弁としては、11月20日にスポーツ庁から、愛知県教育委員会を經由して、グローブの配付対象となる小学校の学校数に係る調査があり、半田市としては、板山小学校ならわ分校を含む14校と回答した。

質問 2「児童には大谷選手の想いをどのように伝えるか」、質問 3「寄贈されるグローブは、今後どのように活用していくか」に対しては、「大谷選手の想い」については、

現在、グローブのメーカーが発表したメッセージと、大谷選手自身がインスタグラムで発表したものがあり、今後発表されるかもしれない「想い」も含めて、学校ごとに、全校集会で紹介したり、学校だよりに掲載したりして子どもたちに伝え、また、その「想い」を最大限活かした活用方法を、これから各学校で考えていくこと、教育委員会として具体的な活用方法を指示するということはないと説明した。

(桂委員)

有留議員の包括的性教育に関する質問について。まず、幼稚園や保育園でされている取り組みは、「命の安全教育」を受けて取り組んでいるのか、それ以前から先生方が必要だと思って取り組んでいるのか。また、全ての園なのか、各園が独自で取り組んでいるのか。

(学校教育課長)

幼稚園保育園での取り組みについては、元々幼稚園保育園で取り組んでいたものである。

ただ、全ての園では取り組んでおらず、それぞれで必要に応じて取り組んでいる。

(桂委員)

性教育は、子どもたちに必要なことであり、こうして園や学校で取り組まれていることで、しっかり教えてもらえることはすごく大切だと思っている。ただ、1回そこで教えてもらって、それで身についていくのかとも思っており、性の多様性のことや危険性のこともピンポイントで学んでいだけでは腹に落ちないというか、子どもたち自身が考えていくことまでは繋がっていないのかと思う。

性教育は、性行為のことだけではなく、自分の体のことをよく知って、すごく大事なものののだと感じることだったり、それと同時に相手も大事だと知ること。今よく言われる、みんな違ってみんな良いといったことも全部含めて、生きる「生」と、この「性」と、そういったことを全て、小さな頃から学ぶ機会があることで、自分を大切に思い、相手を大切に思うことに繋がっていると思う。その伝え方、タイミングは難しいとも感じているが、何とか学校教育の中でみんなに伝えていける機会があってほしいし、学んだことが繋がっていくことも大切だと思うので、必要に応じてというだけでなく、体系的に実施していけるよう検討いただきたい。

(教育部長)

包括的性教育については、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が提唱しており、先進諸国も導入している。内容としても、5歳から包括的に教えていくということが含まれており、性行為の部分もあるが、全体的にとってもいいものであり、どこかのタイミングで取り組んでいくべきことだと思う。

ただ、今の段階では、文科省の学習指導要領の問題もあり、半田市も取り組んでいない。いずれは、国としても導入する方向にいき、学校でも取り組むときが来るのかとは思いつつ、今の段階では、こういうものがあると学校に伝えていくことから始める。

(桂委員)

子どもたちは、あっという間に成長していってしまうので、できるだけ早く始めてほしい。思春期の子たちがいろいろな悩みを抱えたときに、それを相談できるのは、そのことをたくさん知って、話してきているから、相談してもいいのかなと思うのではないだろうか。性のことをみんなで考えたり、話したりする機会が少ない現状であり、それは大事なことから、たくさん話していこうとなってほしい。

(教育長)

性教育は、ある程度は家庭でも必要だが、学校でもカバーしていかなければいけないとも思っている。ただ、今の段階では、学校でも発達段階に応じて個別には相談をしているが、一斉にどこまで取り組むかは難しい。文科省の学習指導要領に基づいて教育をしていく必要もあり、あえて半田市が、進んで一斉に取り組むところまでは、まだ少し時期が早いと考えている。いろいろな人と相談しながら進めていきたい。

(久米委員)

大谷翔平選手からのグローブの寄贈について、例えば保護者や地域の方の中でグローブを一目見たいと思う方も多いのでは。何かしら統一して学校側の対応も考えておいたほうがいいのでは。

(教育部長)

今、世論も今回質問された議員もそうお考えだったが、グローブは飾っておくのではなくて、せっかくだから使うべきだという意見がとても多い。ただ、やはり児童みんなが見たい、触りたいとなると、特に児童数の多い学校では見ることもできない、触ることもできない子が出てきてしまうおそれがある。そう考えると、例えばもらってからしばらくの間は、飾っておいたり、校長室に置いておいたりすることはありえる。

ただ、教育委員会として、具体的な活用方法を指示することはなく、それぞれの学校が、子どもたちと、あるいは地域の皆さんとともに、大谷選手の想いに応える活用方法をしっかり考えてもらいたい。

(久米委員)

グローブは教育委員会に届くのか。

(教育部長)

教育委員会に全校分がまとめて届き、届いたらすぐに各学校へ届ける。

(新美委員)

各学校から希望をとったのか。

(教育部長)

	対象が小学校のみであるが、分校も含めて全ての学校が希望した。
2) 寄附、後援願等	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2団体より寄附。 (内訳：絵本原画・書籍・その他、現金 3,600 円) ・11 件の後援名義を許可。
3) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	<p>(指導主事)</p> <p>令和 6 年 11 月 18 日～12 月 18 日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 月 30 日(木) 1 件 <p>問題行動(被害)等：8 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 月 21 日(火) 1 件 11 月 23 日(木) 1 件 11 月 27 日(月) 1 件 11 月 29 日(水) 1 件 11 月 30 日(木) 1 件 12 月 4 日(月) 2 件 12 月 14 日(木) 1 件 <p>交通事故以外の事故：4 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 月 21 日(火) 1 件 11 月 30 日(木) 1 件 12 月 1 日(金) 1 件 12 月 5 日(火) 1 件 <p>学校等被害：0 件</p> <p>不審者情報：0 件</p> <p>(新美委員)</p> <p>前月、前々月と同じ学校で問題行動の報告があるが、同一の子どもか。</p> <p>(指導主事)</p> <p>同じ子どもも含まれているが、他の子どももいる。学校としても気にしていた子どもたちであり、今後も継続して見ていくとのことである。</p> <p>(堀崎委員)</p> <p>全体として、親子間のトラブルが多い印象を受ける。親が感情的になって強い言葉を子どもに言い放ち、問題行動として表れてしまっている。</p> <p>保護者が子どもに投げかける言葉の研修をしないといけない。短絡的に怒るのではなく、私メッセージ(自分を主語として話す方法。自分の気持ちを伝え、相手の行動変容を強要したり、相手自身を批判したりしない伝え方)を発信できるようなことをするといい。私自身、教員だった頃に学校だよりで紹介したことがあり、保護者から、とて</p>

も参考になりましたという声もいただいた。何かやはり言葉の伝え方の研修の機会を作
ってあげないと、特に思春期の子ども相手だと同じことが繰り返される。

(教育長)

ありがとうございます。そういった働きかけは各学校にしていかなければいけないと思
う。

(久米委員)

事件があった学校について。メディアの取材が過剰だと当該学校の保護者から聞
いたが、何か対策はあるか。

(指導主事)

メディアに関しては、子どもたちの発達段階に適していない行動があるとの声をたくさ
んいただいたので、教育委員会から、メディアの方に対して、そういったことを配慮してい
ただくよう申し入れをした。半田警察にも相談したところ、賛同していただき、愛知県
警からも子どもたちの心に配慮するよう申し入れをしていただいた。それ以降は、落ち
着いたと認識している。

(教育部長)

メディア対応については、事件が起こってすぐに学校関係者が警察の事情聴取を
受けている間、学校や教育委員会が事実関係を把握する前にインターネット上に
次々と情報が流れ、うまく対応しきれない部分があった。保護者説明会でも伝えた
が、心配されていた保護者に対する連絡が遅れたことが大きな反省である。

(教育長)

事件後、すぐに警察の捜査が開始され、我々も歯がゆい思いがあったのは確かだ
が、一方で半田警察とは逐一情報交換をしながら対応しており、良好な関係にある
と考えているため、今後も連携して対応していきたい。なにより、一番大変な思いをし
ている学校の子どもたち、先生たちのサポートをしていかなければいけない。

(桂委員)

先生方のケアはできているか。

(指導主事)

県のスクールカウンセラーのスーパーバイザーと話す機会は設けているので、ある程
度は話せていると思うが、繰り返し機会を設けていく必要があると考えている。

子どもが登校している間は、先生方も気を張っていると思うので、冬休みに入った
来週以降もスクールカウンセラーに学校に来てもらい、ケアに入れる体制は整えてい
る。

	<p>(桂委員)</p> <p>職場でタブーにならないといいと思う。一人で抱え込まないよう、一緒に考えていける雰囲気づくりが大切だと思う。</p> <p>(指導主事)</p> <p>県のスーパーバイザーからも、当初からタブーにしてはいけないと助言いただいております、そうならないように学校も取り組んでいる。</p> <p>(教育長)</p> <p>体制も含めて、みんなで取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、3年生の生徒が入試を控えている中で影響を心配しているという声もあったため、愛知県教育委員会に対して、入試で受験生が不安にならないよう配慮いただくよう申し入れを行い、県教育委員会から、県立高等学校や私学協会等に対して半田市から申し入れがあった旨を通知していただいた。県外の学校を受験する生徒もあり、当該学校にも郵送で通知している。</p>
4) 第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会結果	<p>(スポーツ課長)</p> <p>12月2日に愛地球博記念公園内で第14回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が開催された。愛知県内全市町村の54チームが参加した。半田市チームは、前半がやや遅れたが、その後巻き返しを図り、最終的には市の部門で38チーム中29位という結果となった。</p> <p>前半の選手の遅れを取り戻そうという雰囲気、他の選手が全力で応援する姿などを見て、来年に繋がる大会になったと感じた。</p>
5) 半田市スポーツ推進委員の募集	<p>(スポーツ課長)</p> <p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき設置されているものであり、半田市スポーツ推進委員設置等に関する規則によって職務規定等が設けられている。定数は25名以内で現在は22名。現在の委員の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年だが、再任を希望されない方もおり、今回は7名程度を募集する。</p> <p>活動の内容は、地域と行政のパイプ役として、様々な事業の連絡調整を行っていただいたり、半田市が主催する事業の手伝いをしていただいたりする。新年号の市報に掲載する。</p>
6) 各種事業 ①第76回半田市美術展開催結果	<p>(生涯学習課長)</p> <p>第76回半田市技術展の開催結果について、12月8日(金)から10日(日)までの3日間開催した。</p> <p>注目していただきたいのは、来場者数である。今年の来場者数が、美術展は3,364人だった。昨年度が3,110人、一昨年度が1,314人だったので、確実に来場者が増えている。また、第3回アール・ブリュット展の来場者数についても、昨年</p>

	<p>度の 817 人から、今年は 1,139 人へと増加した。</p> <p>2 年前から、アール・ブリュット展と美術展を同時開催することで、お互いの相乗効果により来場者数が確実に増えていると考える。来年度は、アール・ブリュット展をもう少し拡充させて、瀧上工業雁宿ホールの他にサテライト会場を設けたい。</p> <p>南吉賞については、今年生誕 110 年を踏まえて、特別な賞として設けた。</p>
②「NG なしで答えます！～椎の木福祉会に聞く介護職のリアルな毎日～」の開催	<p>(生涯学習課長)</p> <p>特別養護老人ホームの第二瑞光の里が企業ゲストティーチャーの登録をされており、小中学校への出前授業を行っているが、今年は一般市民向けで講座を開く。令和 6 年 1 月 20 日(土)に第二瑞光の里で開催予定となっている。</p>
③スポーツフェスタ 2024 の開催	<p>(スポーツ課長)</p> <p>スポーツフェスタ 2024 は、令和 6 年 2 月 24 日(土)に花園小学校の体育館で、ほぼ 1 日かけて開催をする。</p> <p>午前中はニュースポーツラリーとして、どなたでもご参加いただけるニュースポーツの体験会を開催する。種目としては、ポッチャ、ラダーゲッター、バグゴ、モルック、マグダーツ、カローリングとなる。</p> <p>午後は、同会場でポッチャの大会を開催する。1 チームあたり 1～6 名として募集する。いずれも半田市報新年号で募集案内をする。公民館等にチラシも配布する。</p>
④図書館で学ぶ介護予防講座の開催	<p>(図書館長)</p> <p>この講座は、半田市とスギ薬局が締結していると「地域包括ケアの推進にかかる連携協定」に基づき実施するものである。開催日は、令和 6 年 2 月 16 日(金)、図書館本館においてスギ薬局の管理栄養士による栄養の視点からの介護予防講座を開催する。</p>
⑤博物館講座「苔テラリウムを作ろう」	<p>(博物館長)</p> <p>「苔テラリウムを作ろう」の講座は、今回初めて行うもので日時は令和 6 年 2 月 11 日(日) 14 時から、博物館で定員 20 名として開催する。</p>
⑥博物館古文書講座「成岩村の塩田の記録より」	<p>(博物館長)</p> <p>この古文書講座は毎年行っているもので、今回は「成岩村文書」を取り上げる。日時は、令和 6 年 1 月 20 日(土)、午前と午後の部、それぞれ定員 50 名として博物館で開催する。</p>
⑦市内小中学校の展示会の開催予定	<p>(博物館長)</p> <p>今年度は、1 月 13 日(土)から 2 月 21 日(水)までの約 1 か月間、市内小・中学校の児童生徒による作品展を順次開催してまいります。</p> <p>いずれも児童生徒の力作を展示していますので、委員の皆様もぜひお越しください。</p>

	きたいと思います。
⑧文化財消防訓練の実施	<p>(博物館長)</p> <p>文化財消防訓練は、毎年1月26日の「文化財防火デー」前後に、市内重要文化財において訓練を行うもので、今年度は、1月30日(火)に重要文化財旧中埜家住宅で実施する。</p>
⑨第35回新美南吉童話賞の結果	<p>(南吉記念館長)</p> <p>今回の第35回新美南吉童話賞の総応募数は1,569編だった。注目点は、例年になく多数の半田市民が入賞していることである。</p> <p>自由創作部門・中学生の部優秀賞に成岩中学校2年の本郷さん、小学生低学年の部佳作に宮池小学校3年の吉田さん、それからオマージュ部門優秀賞に市内の大人の方の伊東さんの3名が入賞した。</p> <p>優秀賞というのは、最優秀賞を除いてそれぞれの部のもっともよい賞であり、非常に喜ばしいことである。</p> <p>表彰式は、2月17日(土)13時30分からクラシティの市民交流センターホールで行う。</p>
各課事務連絡 1)	<p>(主任指導主事)</p> <p>令和6年度の儀式等の日程について。前回の定例教育委員会でお示しさせていただいた案について、11月末に愛知県都市教育長会議より正式に通知が届き、案としてお示しさせていただいたとおりの日程で決定したので報告する。</p> <p>なお、その日程については、12月1日より、市教育委員会ホームページでも公開している。</p>
教育委員からの 意見提言等 (1)	<p>(堀崎委員)</p> <p>12月4日の事件について。起きてしまったことはしょうがない。過去は変えられないので、これから繋ぐということで提案させていただきたい。今回の学校を責めているわけではないが、何かそれに至るまでのちょっとしたサインがあったような気がする。子どもたちは、なにかのサインをそれなりに発信していると思う。それを担任などが拾い上げ、すぐに報告する体制を作ってチーム学校として、心理面のフォローなどの対処していかなければいけない。</p> <p>それには、何かいつもと違うなと気づけるよう、担任を始めとした先生方の見る目、感じる心を、研修や事例検討により育てていかなければいけない。また、職員室の雰囲気、具体的には職員が管理職に対して良い提案も悩みも相談したいと思える体制、雰囲気になっているか。職員がよく相談に来てくれる、小さな情報もすぐにキャッチできる体制を構築していかないと、後手後手になってしまう。今後に向けて、半田市全体として情報交換をして、方策を考えていく必要があると思う。</p>

(教育長)

ありがとうございます。当該中学校だけの問題にせず、各学校が当事者意識を持って、子どもたちの小さなサインも見逃さないような、そういった教員に対する指導なり研修なりは、今後さらに充実させていく必要があると思っている。いろいろな体制も含めて、半田市で同じようなことが繰り返されないようにしなければならない。

(新美委員)

私は、今回のようなことを、今後、学校が完全に防げるかと思ったときに、難しいのではないかと思った。

過去に報道されているような高校生や大学生の事件等で考えても、児童生徒が犯行に及ぶ可能性が高いといった傾向や兆候は把握しきれない。

ただ、今回のことは、半田市としても、単に大変なことが起きてしまったが幸いにも被害にあった子が軽症でよかったとして済ますことはできない。では、今後どうしていくかと考えると、私は、保護者に対して学校側がある程度のことを言わなければならないときが来ているのではないかと思う。

半田市に限ったことではないと思うが、ここ最近、保護者が言うことを学校が聞くという構図になっているような気がする。そうではなくて、やはり教育は、家庭教育と学校教育の両輪で進んでおり、家庭教育をないがしろにしすぎているのではないかと思う。

また、当該中学校の PTA も何かしなければいけないという気運はあると思うが、やはり教育委員会と PTA と学校とで、保護者への提言であったり、何かしらの取り組みをしていかなければいけないときが来ているのではないかと思う。まずは当該中学校で実施し、それを他の学校でも実施するような形を取ったり、半田市 PTA 連絡協議会を絡めて何かできないかと感じた。

(堀崎委員)

新美委員の意見はごもっともだと思う。以前に比べて、保護者の発言に対して学校が過敏になっている点は否めない。

ただ、私の意見も先生たちを責めているつもりはなく、今の学校だけでなんとかできるとも思っていない。スクールソーシャルワーカーや臨床心理士、ゆくゆくはスクールロイヤーなどの専門職を配置していったり、幼小中の連携を深めるなどして、チーム学校の力をつけてほしいという思いはある。

(正村委員)

堀崎委員がおっしゃったように、子どもはどこかで発信していると思うが、それをキャッチする大人が少ないことも問題だと思う。

発信する機会について少し前から一つ感じていたのが、授業の中で作文を書くことがすごく減ってきていること。そう感じていたところ、先日、愛知少年院の職員の講演を聞く機会があり、そこでは作文をたくさん書かせると聞いた。書くことは、自分の心と向き合うことに繋がり、さらにそれを言葉にすることで、だんだん暴力をなくしていくこともね

らいの一つとのことで、すごく合点がいった。

児童生徒の問題行動等でも多くの報告があったが、報告内容を見ると、一歩間違えば今回の事件のようになってしまうおそれがあるものもあると感じた。自分の言葉で相手が傷つかないかを考えたり、これは子どもだけでなく保護者にも言えることかもしれないが、自分が声に出した言葉を、自分の自己責任で対処できるかということを考えていかないといけない。なんでもかんでも言いたい放題で、それを全て優しくキャッチするところがあって当たり前という世の中は、なにか違うと思う。

新美委員がおっしゃっていたような保護者に向けた取り組みについても、家庭教育が機能しなくなってきたというのは私も感じるので、そこを今ここで見直さないといけない。教育を大きく捉えたときに、学校教育だけでは成り立たないと私も思う。

例えば、4月の初めに、学校でできること、家庭でもできること、地域でできることのように整理して、具体的に発信していくことも、子どもを守るためには必要なことではないかと感じた。目に見える形で発信していかないと、伝わらない人もいると思う。

また、私自身が教育委員として何ができるのだろうかということも改めて考えさせられた。一つ頭に浮かんだのは、学校教育課やPTAではなくて、教育委員として何か提言をすることもできるのではないかということ。この件がなければ考えられなかったのかもしれないが、なにかしらの取り組みをすることで力になればと思っている。

(教育長)

様々なご意見ありがとうございました。みなさんがおっしゃるように、学校だけでは解決できないことが多いのは確かで、今回の件においても、保護者説明会のときにある保護者が、持ち物検査はまずは家庭で見るところから始めましょうという旨の発言をしてくれたが、学校とPTAが相談しながらそういったようなことを進めていくことは、もっとやっていたかなければいけないと思う。学校・家庭・地域の連携が必要と言われ続けて何十年と経っているが、何が連携でどこまでできるのかという点については、本当に難しいなと思っている。

学校運営協議会やコミュニティスクールというような体制づくりも進んでいるが、なかなか学校運営や関係者全てにはそういった考え方が浸透しない。今回のことに限らず、いろいろな研修を実施したり、情報提供したりするときにもよく言われるのは、本当に来てほしい人が来てくれない、届けたい人に届かないということ。そこは何とかしていかねばいけないと、思っているいろいろな考えて手を打っているが、目に見えた成果が出るような方法がない。

みなさんがおっしゃってくださった意見を受けて、一つでも教育委員会事務局としても解決できることを考えていかなければいけないと思う。また、正村委員がおっしゃったように、教育委員として何か提案できることという視点での取り組みは、これまでにない発想であり、やってみてもいいと思った。

今後も力を貸していただけるようお願いします。

次回開催等	<p>(事務局)</p> <p>1月定例会教育委員会 日時：1月24日(水) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室</p> <p>(教育長)</p> <p>12月定例会教育委員会を終了する。</p>
-------	---

〈 閉会 11時45分 〉